

科目名	小児看護援助論Ⅱ		時期	時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		2年次	後期	30時間 1単位
科目設定理由	子どものアセスメントに必要な知識や技術、症状別や検査・処置別看護について、講義や演習を通して具体的に学び、看護実践能力を養う。また、小児看護における看護のプロセスについて、事例を用いた看護展開を実践し、理解することにより、小児看護の実践能力の向上を図ることを目的に当該科目を設定した。				
学習目標	1 子どものアセスメントに必要な知識と技術を理解する 2 子どもの症状に応じた看護、検査・処置を受ける子どもの看護を理解する 3 小児看護における看護のプロセスを理解する				
修得する看護技術項目	No. 31 ネブライザーを用いた気道内加湿				
授 業 計 画					
回数	項目	内容			備考
1~2	子どものアセスメント	1 アセスメントに必要な技術 (1) コミュニケーション (2) バイタルサイン、身体測定 2 身体的アセスメント			講義 演習 ・身体計測
3	症状を示す子どもの看護	1 小児の主な症状と看護 不きげん、啼泣、痛み、チアノーゼ、ショック、けいれん、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水			講義
4~6	検査・処置を受ける子どもと家族の看護	1 検査・処置総論 2 薬物動態と薬容量の決定 3 検査・処置と看護 (1) 与薬、輸液管理、輸液管理 (2) 抑制、検体採取 (3) 排泄 4 呼吸困難の緩和 (1) 吸引 (2) 酸素療法 (3) 吸入療法 5 救命処置 (1) 意識・呼吸状態の観察 (2) 心肺蘇生法、気道確保・人工呼吸法、気道内異物除去 6 検査・処置を受ける子どもの家族の看護			講義 演習 No. 31 ・与薬 ・輸液管理 ・検体採取 ・救命処置
7~8	白血病の子どもと家族の看護	1 病態の理解 2 経過別看護 (1) 確定診断から治療開始 (2) 初期寛解から治療終了 (3) 入院治療終了、外来通院開始 (4) 再燃・再発 (5) 家族への援助			講義
9~14	事例展開	1 小児における看護過程の考え方 2 事例展開の実際 (1) 情報収集とアセスメント (2) 看護上の問題点の明確化 (3) プランニング 3 入院中の遊び			講義 演習
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論		奈良間 美保 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論		奈良間 美保 他	医学書院	
	写真でわかる小児看護技術アドバンス		山元 恵子 他	インター メディカ	
	看護がみえるvol. 4 看護過程の展開		医療情報科学研究所	メディック メディア	
参考図書・資料等					
評価方法	筆記試験・グループワーク・レポート・出席状況などを総合的に評価する				